



# 風立ちぬ

志高く 未来を切り拓く

立川中学校通信

第5号

令和2年9月15日(火)発行

## 運動会での3年生の活躍に思う

運動会が大成功で終わりました。全校が2軍に分かれて、生徒一人一人が勝利を信じて一生懸命に競技・応援する姿は、暑さの中参観した保護者だけでなく、準備と指導をしてきた教職員をも感動させました。

3年生にとっては3度目で最後の運動会ですが、昨年までの運動会とは違って熱中症対策とコロナ対応を抱えて全てが挑戦でした。大きな行事を自分たちがリードして成功させなければならないプレッシャーを跳ね除け、実行委員会を組織し話し合い。夏休みも登校し、準備と練習。3年生は全校のリーダーとして運動会週間と当日は後輩の指導を頑張りました。改めて感動をありがとう。



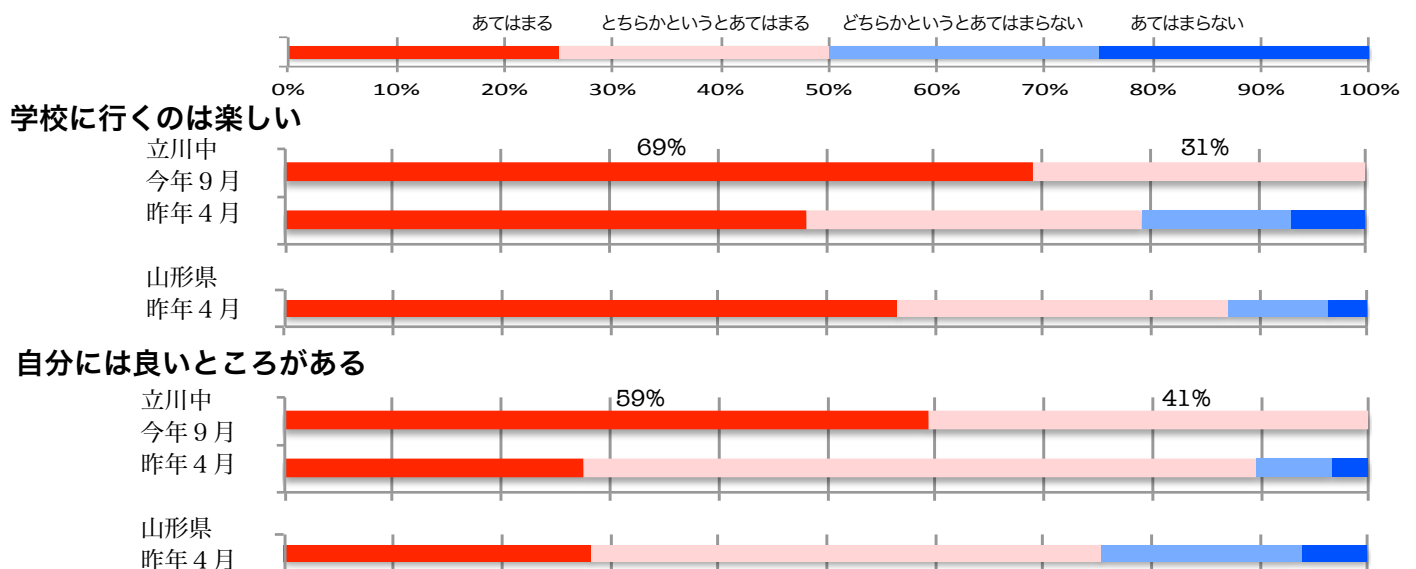
## 生活・学習の経験、困難を乗り越えて3年生の今の成長がある

全校をリードし後輩達が憧れる頼もしい存在の3年生ではありますが、最初からそうではなかったことを紹介したいと思います。

以下に示す帯グラフは、3年生の生活・学習についてのアンケート結果で、上段と中段はそれぞれ立川中の今年秋と昨年春、下段は全県の昨年春のものです。(昨年は当時2年生の結果)

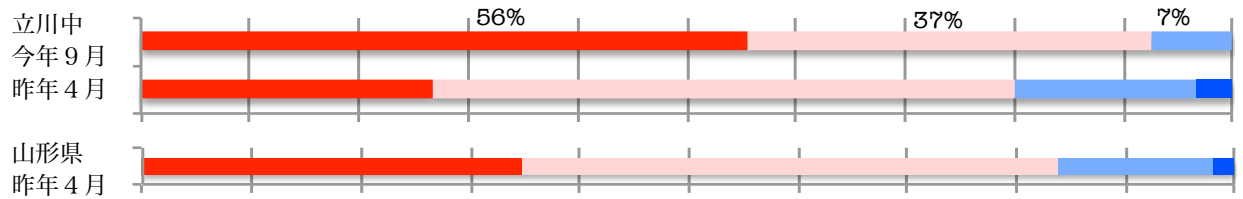
『学校に行くのは楽しい』『自分には良いところがある』の問いに対して、2年春の時点で、学校が楽しいと思っている生徒は半分以下、自分には良いところがあると思っている生徒は3割以下で、全県より低い結果でした。当時、このことを捉えて、校長として、その原因や対策を様々な考え心配していました。

しかし、現在は「毎日の生活には楽しいことだけでなく、辛いことや困難もあるがそれを乗り越えての今がある。」また、「行事、生徒会活動、部活・クラブ活動など活躍の場で一生懸命頑張る、自分の力を発揮することで、自分の良さや可能性に気づいている。」3年生の中学校生活の中での成長の姿が見えてきます。



また、『学んだことが他の授業や生活に活かされている』の質問も昨年春には全県より肯定的な回答が低かったのですが、現在は9割以上が肯定的な回答です。3年生が生活・学習に対して前向きに取り組んでいることを示しています。

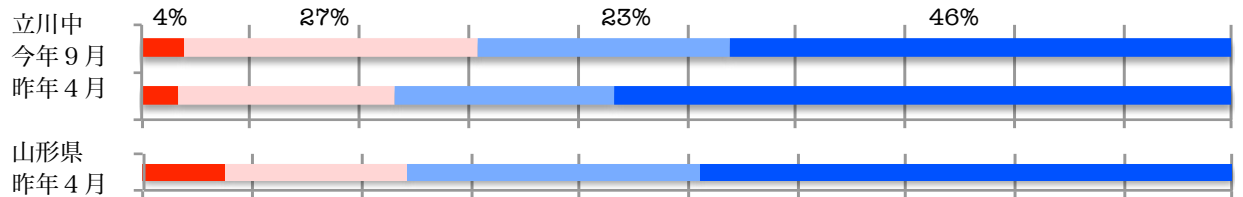
### 学んだことが他の授業や生活に活かされている



しかし、課題もあります。

昨年春には全県よりやや低く、現在もあまり変わっていないのが、『新聞を読んでいる』です。学校生活は社会生活と連続であり、学校は社会の中で特別な場所ではありません。社会の情報に関心を持って欲しいし、社会と関わりを持つことを意識することは大切です。オープンスペースに置かれてある新聞（庄内町で生徒のために定期購読契約してくれている）をぜひ読んで社会の情報を得て欲しいと思います。

### 新聞を読んでいる



## 夢サポート塾スタート 夢への第一関門突破を目指して

夢サポート塾は、9月から2月までの毎週土曜日の午前中、狩川公民館を会場に立川中の3年生の希望者を対象として開かれます。教育委員会が主催し、地域の方が講師を担当します。今年で7年目を迎え、これまで立中の先輩達は、この塾で力を付け、夢への第一関門である高校入試を突破してきました。しかし、夢サポート塾は魔法の塾ではありません。自ら学ぶ積極的な姿勢が必要です。塾で身につけた受験に向かう姿勢を毎日の生活や他教科に広げて行くことが重要です。地域の先生、教委の皆様に感謝です。



9月5日（土）開塾式でのようす

## 立川中学校の熱中症・感染症対策用品を紹介します

新型コロナ対策と豊かな教育活動を両立させるために、国・町の予算等で、以下に掲載した用品を購入しました。



最初、屋外への排気に難があったのですが、教頭先生が排気ダクトを細工し解決しました。7台購入。



武道場の戸、全18面に網戸を設置しました。夜間練習でも窓を開けて快適に練習できています。



運動会には間に合いませんでしたが、保健室で威力を発揮しています。



合唱等で、マスクを着用しても呼吸がしやすいようにマスクと口の間に挟んで使います。生徒会予算で購入。

文責：校長 中里浩也